

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度「わたしの英語教育実践」	6年 外国語科 (9月) Here We Go! Unit 3 What do you want to watch? 第6時/6時間扱
⑥ 小中連携の取組	立川市立第三小学校 外国語専科 細田 和香奈

クラスみんなが見たいオリパラ競技トップ3と中学生が見たいトップ3を知ろう。

今年度、開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックが1年延期になったことを受け、今の選手やスタッフの気持ちを知る動画を観たり、過去のオリパラ競技のハイライトを観たりして、オリパラへの興味・関心を高めてきた。また、年度当初から9月末に小中連携外国語が予定されており、9月に学習する本単元において、単元のゴールに自分が観たいオリパラ競技を友達に発表しクラスのトップ3を知るとともに、中学校の英語科教員から直接、中学生が観たいトップ3を教えてもらい、中学生と自分たちの興味を比べようと学習を進めた。自分が観たいスポーツを決める際は、友達とのやり取りの中で、最終的に自分が一番観たいオリパラ競技を決定するよう、以下のようなやり取りを行った。

本単元の目標表現は、①Do you want to watch ...? Yes, I do. /No, I don't. ②What do you want to watch? I want to watch ...であり、友達や状況に応じて①と②の表現を選択して相手とやり取りする大切さを伝えた。

**ケース1
AさんとB君の会話**

A: Do you want to watch baseball? (B君が、野球を習っていることを知っているためこの表現を使った。)

B: No, I don't. *Aさんは少し驚いて、

A: Really? Do you want to watch soccer? (野球ではないなら、球技スポーツのつながりでサッカーと考え、追加の質問をした。)

B: No, I don't.

A: Umm... What do you want to watch? (野球、サッカーではないとなると見当がつかないため、この表現を使った。)

B: I want to watch swimming.

A: Oh, swimming. *嬉しそうな表情になった。

→ 結局B君は、友達とのやり取りから、やはり野球が見たいと決めた。

**ケース2
CさんとDさんの会話**

C: What do you want to watch? (Cさんは、Dさんが見たいスポーツが見当をつけられないため、この表現を使った。)

D: I want to watch table tennis.

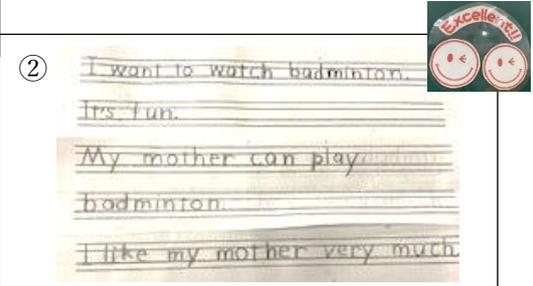
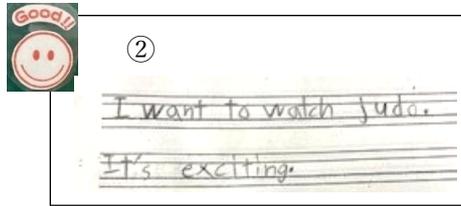
C: Oh, nice. Do you play table tennis?

D: Yes, I do. Do you like table tennis?

C: Yes, I do.

→ 最終的に、Dさんは、友達との会話で卓球が観たいという思いが確信になり、卓球が観たいと決めた。

児童一人ひとりが、観たいスポーツを決め、中学校の先生に聞いてもらうことを意識し、ワークシートに書き発表した。また、発表の時の評価を明確に示した。



発表後、中学校の先生から発表に関わることを質問していただいた。

Ex: What is your position? / Can you play ...? etc...

発表を集計した結果
6年2組 トップ3

1. swimming
2. baseball
3. soccer / rugby

水泳を習っている児童が多いこともあり、納得の結果だったようである。

その後、中学2年生の観たいスポーツトップ3を当てるといった活動も行った。

その際、単元の目標表現である **Do you want to watch ...?**を使い、中学校の先生に聞くのはどう?と問いかけると、児童から、**you** ではないから、**Do 中学生 want to watch ...?**と聞いたほうが良いという意見があがった。そこで、小学校では学習しないけれども今日は特別に中学校の先生に教えていただきチャレンジしてみようと、**Do they want to watch...?**という表現に挑戦し、グループごとに尋ねた。トップ1は、どのグループも予想が外れたところで、何と聞くかと児童に問いかけたところ、**What do they want to watch?**という表現があがった。この単元での2つの目標表現をその場に応じて使うことができた。

ちなみに、トップ1は、**They want to watch tennis.** 部活でも、テニスが一番人気があるということも知り、中学校生活について触れられる機会ともなった。

～児童の振り返りより～

- ・中学生の観たいスポーツトップ3が自分たちと全く違って驚いた。中学生に人気のあるテニスも観てみたいと思った。
- ・中学校の英語の先生に自分の発表を聞いてもらい、自信がついた。
- ・中学校のことを知り、中学校へ行くのが楽しみになった。

面白い実践ですね。なかなかオリンピック・パラリンピックで観たい競技を伝え合う必然性を創るのが難しい中、実にうまく小中連携と絡ませて、子供たちに観たい競技を伝え合いたくなるような目的や場面、状況が設定されています。また、本実践では、子供たちに、小学校学習指導要領外国語では扱っていない、they に自然な形で出会わせています。「特別に中学校の先生に教えていただきチャレンジしてみよう」という先生の投げかけは、子供たちのプライドをくすぐりますね。
(文科省視学官 直山 木綿子)